

ご近所のお医者さん

□
699
□

さの小児科
クリニック院長

佐野博彦さん

豊中市

「かかりつけ患者さん」

日本医師会のホームページで「かかりつけ医」とは、「健康に関すること」をなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」とありま

小児かかりつけ医がサポート

その理由として、①小児の予防接種はとても種類が増えており、それについて相談して接種してくれる医療機関を見つめる必要があります②小児の感染症も多くありますので、かかりつけ医がいれば、気楽に診てもらえます③

医師の立場でいうと、予防接種とか一般診療によく来てくださる患者さんは僕のつくった言葉ですが「かかりつけ患者さん」かもしれません。お名前はなかなか覚えられませんが、小児本人や保護者のお顔は覚えられます。「かかりつけ医」がいると、症状が軽くて病的なものか、生理的なものか分からない時とか、何科で診てもらったらいいのか分からない時でも相談できま

す。お子さんのいる家庭が新しい土地に引っ越しされた場合など、できるだけ早く、かかりつけ医を見つけてくれることをお勧めします。

す。おおげさに考えず、診療所や病院の医師に「知り合い」がいると、いなりは安心できるのかなと考えます。インフルエンザワクチンなどの予約もスムーズにとれると思います。



と。思ったら続けて診てもらえばいいのです⑤「かかりつけ医」は1人に固定する必要はありません。2人以上でも全く構いません。「かかりつけ医」は特に契約するわけではありませんから

「かかりつけ医」は小児科だけではなく、高齢者にもぜひ必要ですが、あまり病気をしない若い方にとっても「かかりつけ医」を持つことは、いざという時のためにも大事だと思います。(府医師会広報委員会委員)

が挙げられます。